

# 競技注意事項

2024国民スポーツ大会  
選手選考春季選抜競技大会

1 本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに大会要項によって行う。

## 2 アスリートビブスについて

- (1) ユニフォームの胸部・背部に確実につける。走高跳・棒高跳は、胸または背につけるだけでよい。走幅跳・三段跳は、胸につけるだけでもよい。
- (2) トラック競技の800m以上の種目に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識を配付する。ランニングパンツの右横やや後方に、そのままの大きさと明確に数字が読めるようにつける。  
(100mから400mまでは腰ナンバーは付けない)
- (3) 腰ナンバーカードはフィニッシュ後、係（フィニッシュライン前方スタンド側）に返却する。

## 3 ウォーミングアップ場について

- (1) ウォーミングアップ場として、レクリエーション広場を使用することができる。  
(使用時間は8時00分から最終種目招集開始時刻まで)
- (2) 瑞穂北陸上競技場のトラックは、8時00分以後ウォーミングアップのために、大会の準備に支障のない範囲で、出場競技者に限り、9時00分まで使用できる。競技開始後も競技進行に支障がない範囲で役員の指示で使用できる。  
20日（1日目）  
ハードル練習のため、バックストレートの7～8レーンに男子300mH、5～6レーンに女子300mHを設置する。ハードル練習時間は9時00分までとする。  
21日（2日目）  
ハードル練習のため、ホームストレートの6～7レーンに少年A女子100mH、8レーンに少年B男子110m JHを準備する。
- (3) 投てき種目の練習はできない。競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。

## 4 招集について

- (1) 招集所は水濠後方付近の倉庫に設ける。
- (2) 招集の受付は本人が行い、時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めない。
- (3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は、種目により違うので時間プログラムで確認する。
- (4) 他の種目に出場しているなど特別の事由がある場合、招集時間にかかわらず1種目めに競技者係主任（招集所）に事前に申し出る。
- (5) リレーのオーダー用紙は、招集所に設置する。招集完了時刻の1時間前までに招集所へ提出すること。

## 5 競技場への入退場について

- (1) 入退場は、南ゲートと北ゲートから係員の指示により行う。スタンドからグラウンドに降りないこと。
- (2) 選手・審判・補助員以外はグラウンドに入らないこと。

## 6 レーン・試技順について

- (1) トラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。
- (2) 決勝の組合せ及びレーンは、1階正面出入口付近の掲示板に掲示する。(QRコードでも確認可能)
- (3) 予選から次のラウンドへのレーンの決定方法はTR20.4にもとづき、以下のように抽選を行う。

直線種目	上位 3・4・5・6レーン	中位 2・7レーン	下位 1・8レーン
200m	上位 5・6・7レーン	中位 3・4・8レーン	下位 1・2レーン
(300m)			
400m	上位 4・5・6・7レーン	中位 3・8レーン	下位 1・2レーン

## 7 トラック競技について

- (1) タイムによる決勝進出者の決定について、同記録(1000分の1)があり、レーン数が不足するときは、抽選(TR21.5)を行う。
- (2) 抽選は、番組編成員が該当者をアナウンスにより招集して行う。該当者は、アナウンスがあってから10分以内に本部へ集合する。
- (3) 400mまでのレーン使用の競技では、フィニッシュ後も他の競技者の安全のために、自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走行して止まる。
- (4) リレーについては、ユニフォームの形状を統一しなくてもよい。但し、デザイン、配色は統一すること。男女混合リレーについては、男女それぞれのデザイン、配色が統一されていれば、男女間で異なってもよい。

## 8 フィールド競技について

- (1) 三段跳の踏切板は男子13m、女子10mとする。
- (2) バーの上げ方

	練習A	練習B	1	2	3	4	5	6	
男子成年走高跳	1m80	2m00	1m85	1m90	1m95	2m00	2m03	2m06	以後3cm
女子走高跳	1m45	1m65	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	以後3cm
男子少年走高跳	1m75	1m95	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	2m03	以後3cm
女子棒高跳	1m80	2m60	1m90	2m10	2m30	2m50	2m70	2m90	以後10cm
男子少年棒高跳	3m60	4m30	3m60	3m80	4m00	4m20	4m40	4m60	以後10cm

(練習はA・Bいずれか希望する高さで行う)

※第1位決定の場合のバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

- (3) 跳躍・投てき競技の助走に使用するマークは主催者が用意する。マークは2個まで(サークルより行う投てき競技は1個まで)使用できる。
- (4) 中学生種目の試技数は3回とする。

## 9 抗議について

抗議がある場合には、結果発表(アナウンス)された時刻を基準とし、次のラウンドがある場合は15分以内、次のラウンドがない場合は30分以内に審判長に口頭で申し出る。

## 10 競技用器具について

競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。

ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のものが使用できる。やりについては、競技場がないものもしくは1つしかないもの場合は持ち込みを認めるので、希望者は招集開始時刻の1時間前から招集開始時刻までの間に、南側器具庫(フィニッシュライン付近)で検査を受ける。

## 11 競技用靴について

使用するシューズについては、競技規則TR5.2を適用する。ただしフィールド競技用として小売りされているシューズについては競技規則TR5.5の適用を除外する。

規定外シューズ使用者の扱いについては「失格扱い」とする。

## 12 パロマ瑞穂北陸上競技場の使用について

- (1) 開門時刻は、午前8時00分である。それ以前には立ち入らない。瑞穂公園駐車場の利用のため開場前に周辺道路に駐車することは通行の妨げになり、危険なため禁止する。

※駐車場は決まった時間にしか開場しない。路上で待機することは禁止する。

- (2) 応援幕等は張ることはできない。
- (3) 清掃・ゴミ処理は、各学校・各団体に責任をもって行い持ち帰ること。

## 13 その他

- (1) ナンバー・氏名・所属等の間違い、訂正があれば、団体受付後に本部に申し出る。
- (2) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かないようにする。更衣後の荷物は各自で管理する。
- (3) 貴重品類は各自で保管する。万一の事故があっても、責任は負わない。盗難に注意すること。
- (4) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、医務室(1階中央出入口付近)において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は本人負担とする。
- (5) 競技中の映像を競技に支障がないようにスタンドから見せることはできる。ただし、**競技場内に持ち込むことはできない。もし競技に支障をきたした場合は直ちに禁止とする。**
- (6) **個人情報の扱いについて**  
愛知陸協は、個人情報保護に関する法令を遵守し、日本陸上競技連盟個人情報保護方針に基づき取り扱います。尚、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用します。
- (7) **カメラ・ビデオ等の撮影は、出場の団体・学校関係者のみとする。**

### 観客席からの撮影制限について

- ① **観客席での撮影禁止**をさせていただくエリアは下記の席です。
  - ・各種目のスタート後方
  - ・走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳の助走後方・着地前方
  - ・走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）
- ② 保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。
- ③ 競技者がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っていたりする間や体を動かしているなど準備の行動の撮影は禁止します。
- ④ 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡をとらせていただきます。